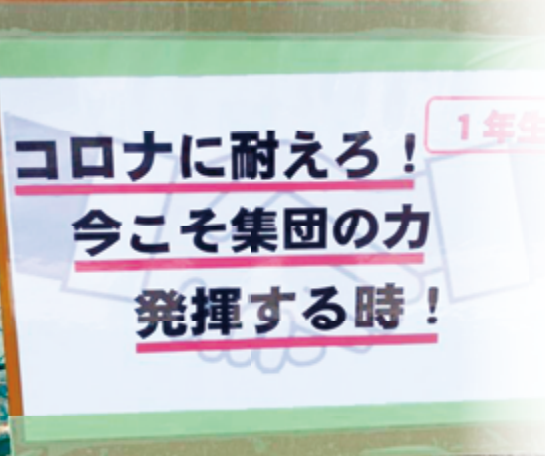
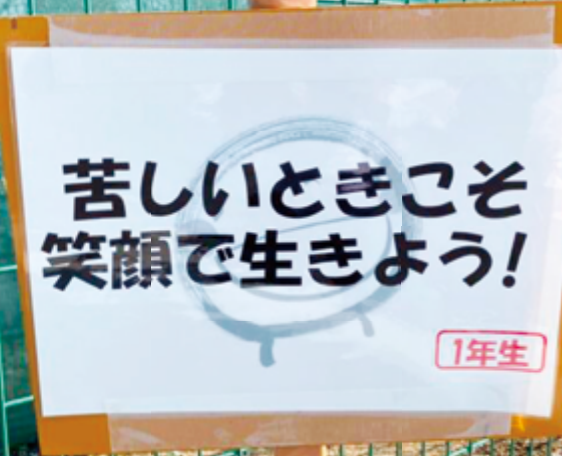
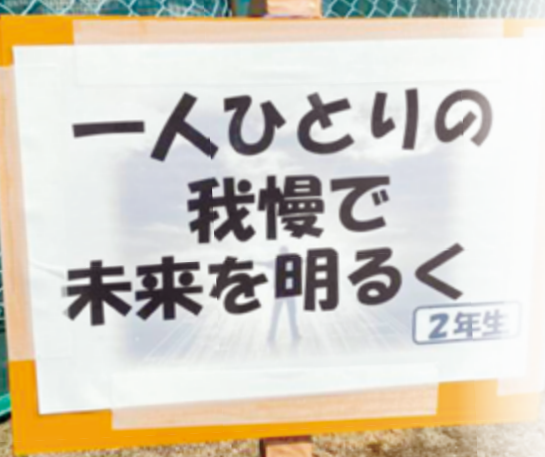
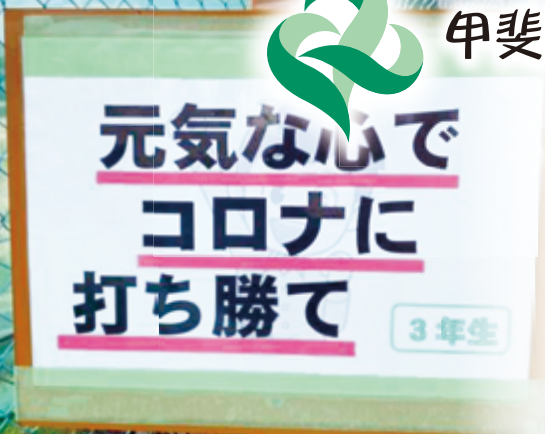
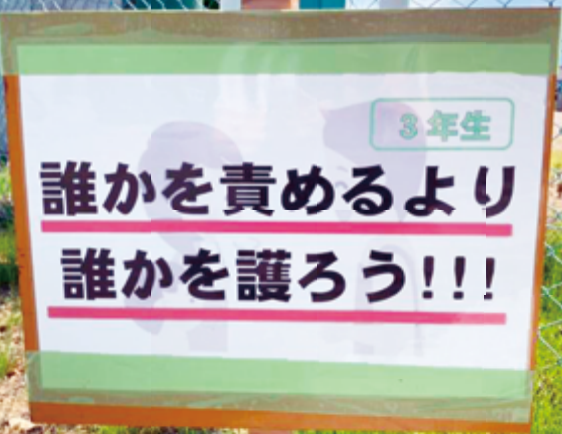




令和2年7月25日発行
★議会活動をわかりやすくお伝えします

がいぎかい



「コロナに負けない元気が出る言葉」(竜王中学校)

今月の見どころ

【特集】輝く仲間たち	2ページ
市長への提言・令和2年第2回定例会	4ページ
ここが聞きたい一般質問	9ページ
令和2年第2回臨時会	12ページ
議長交際費・政務活動費	15ページ



特集 輝く仲間たち (第2回)

毎回、市内でがんばる方々に登場していただきます。
今回は、新型コロナウイルス感染症により、休校を余儀なくされた「甲斐市立小中学校の児童・生徒会長および代表の校長先生」です。※感染防止対策のため、取材はメールで行いました。

学校再開後、 今一番 やりたいこと

竜王小学校
児童会長
酒井爽風さん

今年しか
できないことを
全力でやる!
竜王小 酒井爽風

玉幡小学校
児童会長
真瀬詩音さん

全校で給食を食べる
なかよしランチ
朝のハイタッチあけっ
★みんなやりたい!

竜王南小学校
児童会長
天野光悠さん

校庭で
笑顔で楽しく
遊びたい!

竜王北小学校
児童会長
飯野都斗さん

修学旅行に
行って全力で
楽しみたい!!

竜王西小学校
児童会長
村山惺七さん

笑顔
甲斐市立竜王西小学校
仲良く 楽しい
児童会長 村山 惺七

竜王東小学校
児童会長
齊藤輝明さん

友達と
おもいきり
外で遊ぶ
竜王東小
齊藤輝明

敷島小学校
児童会長
照屋依智加さん

敷小みんな
でー丸となって
前向きに大きな
試練を乗り越えよう!
敷島小 照屋 依智加

敷島北小学校
児童会長
新津日咲さん

全校の仲が良く
笑顔あふれる
学校にしたい!
敷島北小 新津日咲

敷島南小学校
児童会長
新海光琉さん

友達と
遊びまくりたい
敷島南小 児童会長 新海光琉

双葉東小学校
児童会長
平賀蓮人さん

児童会活動を通して
みんな笑顔の
楽しい東小にしたい。
双葉東小学校
児童会長 平賀蓮人

双葉西小学校
児童会長
小室朱衣さん

双西小児童会テーマ
西小を
元気・絆・輝きの花で
満開にしよう!
友達とたくさん
遊んだり話したりしたい!!
勉強もがんばります!!
児童会長 小室朱衣

休校中に 感じたこと

竜王中学校
生徒会長
河野颯太さん

今、一番
やりたいこと

学校に行きたい
それが休校中に一
番思ったことでし
た。少し変わった
状態でも、学校生
活を送れることに
感謝したいです。

コロナに負けず
今を乗り越えよう!

玉幡中学校
生徒会長
斉藤紳介さん

今、一番
やりたいこと

再会えた今
僕たちは心の底から
笑いあいたい (車)

僕らの日常
が突然奪われ
た 暗闇
の中たくさん考
えた 友と学ぶ
楽しさ何気ない会話のキャッチボール
人との繋がりが笑顔を生むことを

竜王北中学校
生徒会長
矢澤輝志さん

今、一番
やりたいこと

今できる事を
頑張ろう
竜王北中 矢澤輝志

運動量が減り、体力が衰えていくことを強く
感じました。また、生活習慣も乱れていき、
学校があることの大切さを知りました。

敷島中学校
生徒会長
小田切涼星さん

今、一番
やりたいこと

授業・部活行事
とにかく友達と一緒に
活動したいです!!
敷島中学校

これまで何年間
も「あたりまえ」
に登校していた学校に行けなくなり、友達と会
えないこと、話せないことの辛さを感じました。

双葉中学校
生徒会長
内藤翔星さん

今、一番
やりたいこと

休校した分も
仲間と共に思
い出をたくさん作
りたい。
双葉中 翔星

今まで当たり前だった、何気ない会話、部活、
授業を奪われることが、こんなにも辛く寂しい
ものだったかと痛感しました。

学校休業 要請を受けて 感じたこと

竜王東小学校
校長
内藤好文先生

児童への
メッセージ

先の見えない不安や恐怖
現状を嘆くより
今できることに最善を尽くそう
深呼吸で気持ちを整え
明るく前向きに
乗り越えよう

先の見えない不安
や恐怖。現状を嘆くより今できることに最善
を尽くそう。深呼吸で気持ちを整え、明るく
前向きに乗り越えよう。

敷島南小学校
校長
三枝孝太郎先生

児童への
メッセージ

ピンチを
チャンスに
今こそみんなの力を
そろえるときです
敷島南小 三枝孝太郎

子ども達と過ごす日常の有り難さが身にしみると
ともに、今も最前線で働く皆様への感謝の念を強く
しました。「当たり前でなくありがとう」ですね。

双葉東小学校
校長
内藤和彦先生

児童への
メッセージ

自分の歩幅で
半歩ずつ
あせらず あわてず
ゆっくり 進もう
双葉東小学校 校長 内藤和彦

学校に通え
なくなった子どもの不安な気持ちを前向きに
させることと感染防止のために学校が出来る
ことに全力で取り組もうと考えた。

竜王中学校
校長
今村弘樹先生

生徒への
メッセージ

「命・健康」「当
たり前の生活」
「魅力的な生徒
たちと生徒のため
に力を尽くす先生
たち」人とのつな
がり」…ありがたさ
を実感しました。

たとえ、今を
生きること
に苦難や苦痛が
あったとして
も、みんなと一緒
に心の力で、喜び
と感謝に振り替え
ていこう。

敷島中学校
校長
中満一幸先生

生徒への
メッセージ

たとえ、今を
生きること
に苦難や苦痛が
あったとして
も、みんなと一緒
に心の力で、喜び
と感謝に振り替え
ていこう。

新型コロナウイルス対策を最 フラワーパーク&ミュージアム

優先に考え 事業の一時「凍結」を市長へ提言

経過 4月28日に開催された、山梨県緑化センター跡地活用特別委員会において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念される今こそ、新型コロナウイルス対策を最優先に考え、全力を傾注させるため、(仮称)甲斐市フラワーパーク&ミュージアム整備運営事業を当面の間、一時「凍結」するよう要望する旨の提案が出されました。

その後、5月1日に開催された全員協議会に諮り協議を行った結果、議員全員の総意としての提言書を市当局に対し提出しました。



保坂市長、関口副市長

赤澤特別委員長、清水議長、金丸副議長、秋山特別副委員長

提言書の内容

甲斐市議会では、平成30年度に山梨県緑化センター跡地活用特別委員会を設置して以来、旧山梨県緑化センター跡地の活用について審議を重ねて参りました。

市においては新年度に入り、事業者公募の手続きを進めていたところ、新型コロナウイルスによる感染が全世界に広がり、国内でも感染者が増加の一途をたどり、さらに感染の拡大が懸念されております。

4月7日には、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が発令され、応募者代表企業による、企業間の協議や提案書作成の業務に影響が及んでいるという報告を受け、提案書の提出から、プレゼンテーション、優先交渉権者の決定、仮契約の締結、基本契約の締結までのスケジュールを1ヵ月遅らせて執行することを余儀なくされるといった事態が発生しております。

流行の拡大が続く、新型コロナウイルス感染症による影響は、様々な分野に及んでいるなかで、保坂武市長におかれましては、速やかに甲斐市新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、安心安全な市民生活を確保するための対策を迅速に講じていただきました。

しかしながら、更なる感染の拡大に、市民の不安は払拭されるに至っておりません。

市民の不安を解消するとともに、市民生活への影響を最小限にとどめるため、新型コロナウイルス感染対策を最優先に考え、総合的かつ強力で推進していただくことを求めます。

以上の理由から、(仮称)甲斐市フラワーパーク&ミュージアム整備運営事業については、当面の間、事業を一時「凍結」するよう要望いたします。

その後の経過

- 5月 1日 提言書提出
- 5月 7日 事業の一時「凍結」を表明
- 5月14日 住民投票条例否決(詳しくは、12ページ)
現計画の白紙化を検討する考えが示された
- 5月29日 議会全員協議会において、白紙案も含めた今後の事業のあり方について各議員より意見聴取
議長が、各議員の意見を市長へ報告
- 6月 4日 事業の「白紙撤回」の報告を受ける

令和2年 第2回定例会

定例会の あらまし

令和2年第2回定例会は、6月15日から23日までの9日間の会期で開かれました。今定例会では、市長から条例改正、補正予算および人事案件などの議案が提出され、審議の結果、全て原案どおり可決されました。また、7人の議員から一般質問が行われました。定例会の様子は、議会ホームページで録画映像を配信していますので、ぜひご視聴ください。

第2回定例会では、条例の一部改正や、補正予算について審議を行いました。その中で、主なものをピックアップしてお知らせします。詳しい内容は、こちらをご覧ください。



条例 甲斐市の市長等の給与等に関する条例の一部改正を可決

条例改正の内容 新型コロナウイルス感染症の拡大により、外出自粛や休業要請によって深刻な影響を受けている市民及び市内事業者の状況に鑑み、市長、副市長及び教育長の給与について、令和2年6月から同年10月まで5か月間で、給料月額から10%を減額支給するもの。

Q 甲斐市長の給料の現状は。

A 県内13市のうち12番目。

※議員報酬の削減については、第2回臨時会で可決済。(詳しくは、13ページ)

条例 甲斐市小規模企業者小口資金融資促進条例の一部改正を可決

条例改正の内容 新型コロナウイルス感染症の拡大により、影響を受けた市内小規模企業者の事業継続を支援するため、緊急資金の融資に対する信用保証料の補助割合について、令和2年5月1日から令和3年3月31日までの間に行われた緊急資金の融資に限り、その4分の3を補助するもの。

主な質疑

Q 資格要件は。

A 常時使用する従業員が20名以下の会社又は個人、その中でも商業・サービス業の場合は5名以下、甲斐市内で1年以上店舗・事業所を有していること、市税の滞納等がなく完納していること等、全てを満たすことが要件である。

Q 利率は。

A 今まで、利率が2.275%であったが、今回1.4%まで引き下げる。

人事・表彰

特別会計補正予算

令和2年度 甲斐市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	382万円増額
令和2年度 甲斐市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	60万円増額
令和2年度 甲斐市介護保険特別会計補正予算(第1号)	70万円増額

主な内容

国民健康保険特別会計
 傷病手当金(被用者*のうち、新型コロナウイルス感染症に感染した者、又は発熱等の症状があり感染が疑われる者に支給する手当金) …… 382万円増額
 ※被用者とは… 保険や給付金の届出申請における職業分類のうち、会社などに雇用されている立場でない者が該当する区分のこと。個人事業主は被用者等でない者に該当する。

後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計
 保険料のコンビニ収納事務費 …… 130万円増額
 (2会計の合計)

人事 任期満了(令和2年9月30日)に伴う、人権擁護委員候補者の推薦に対し、適任であると決定しました。

案 件	氏 名	議決結果
人権擁護委員候補者の推薦の件	野口英夫	適 任
	堀井 昭	適 任

表彰の伝達

定例会の初日(6月15日)に議員表彰の伝達式を行いました。

● 全国市議会議長会(5月27日)

市議会議員在職10年表彰
 斉藤芳夫 議員 清水正二 議員 松井 豊 議員 小澤重則 議員

● 山梨県市議会議長会(4月14日)

市議会議員在職15年表彰
 小浦宗光 議員 藤原正夫 議員 内藤久歳 議員 山本英俊 議員

市議会議員在職10年表彰
 斉藤芳夫 議員 清水正二 議員 松井 豊 議員 小澤重則 議員

市議会議長を務めたことによる感謝状
 長谷部 集 議員

市議会副議長を務めたことによる感謝状
 小澤重則 議員

条例・補正予算

その他、今定例会で可決された条例

- 甲斐市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正
- 甲斐市国民健康保険条例の一部改正
- 甲斐市後期高齢者医療に関する条例の一部改正
- 甲斐市税条例の一部改正
- 甲斐市国民健康保険税条例の一部改正
- 甲斐市介護保険条例の一部改正

補正予算

令和2年度 甲斐市一般会計補正予算(第2号)
 新型コロナウイルス感染症対策で、市が実施している「安心甲斐・市民支援事業」の関連経費(ひとり親福祉事業、市特産品ギフトセットプレゼント、元気甲斐商品券配布など)他、橋梁補修に係る設計業務委託料と補修工事費等、12億4,881万円増額。

主な内容

議員報酬・特別職(市長、副市長及び教育長)の給与月額 …… 317万減額

ひとり親福祉事業(ひとり親家庭の生活を支援するため、児童扶養手当受給世帯に対し、対象児童1人につき2万円の特別給付金を支給) …… 1,910万円増額

安心甲斐・市民支援事業(市特産品ギフトセットプレゼント：市特産品の受注が大幅に減少している生産者を支援するとともに、帰省を自粛している甲斐市出身の県外在住の大学生等を支援するため、市特産品ギフトセットをプレゼント) …… 870万円増額

安心甲斐・市民支援事業(元気甲斐商品券)(市民1人当たり、市内の店舗で利用できる1万円分の商品券を配布) …… 7億9,805万円増額



1,000円を10枚つづり 8月末に配布予定

商工振興事業
 ①県の特別融資を受けた中小企業者等に信用保証料の半額を市が負担。
 ②小規模事業者向け小口資金緊急融資の信用保証料(3/4)を市が負担。
 ③市内の飲食店を支援するため、県が実施している「無尽でお助け めざせ!みんなで100億円キャンペーン」にさらに5%を上乗せ。
 …… 4,061万円増額



竜王庁舎駐車場管理事業(現在、職員駐車場として借り上げている用地を、将来的な公共用地の更新等に対応するため、先行的に用地を取得) …… 1億8,293万円増額

橋梁長寿推進事業(橋梁補修に係る設計業務委託料(2橋)と補修工事費(1橋)) …… 9,750万円増額

委員会レポート

総務教育常任委員会

防災対策費 551万1千円増額

概要 災害時に新型コロナウイルス等の感染症予防策を行うために、各避難所において必要となる衛生物品等(非接触型体温計、手指消毒用アルコール、使い捨てマスクなど)の備蓄品を整備。

- Q** 避難所での密集を避けるための、パーテーションなどの購入は。
- A** 当初予算に計上しており、今年度購入予定。



※写真はイメージです

厚生環境常任委員会

甲斐市国民健康保険条例の一部改正の件

概要 国民健康保険加入者のうち被用者が新型コロナウイルス感染症に感染し、又は疑われたことにより休業した場合において傷病手当金を支給し、休みやすい環境を整備することで更なる感染拡大を防止するため。

- Q** 傷病手当を受けられない方はどういう方か。
- A** 国民健康保険の加入者で、給与所得者以外の方。(自営業者、農業者、年金受給者等)

無尽でお助け
めざまし100億円キャンペーン

甲斐市内の飲食店で使える
+10%お得な飲食クーポン

山梨県 +5%の
上乗せクーポン + 甲斐市 +5%の
上乗せクーポン = **合計+10%の**
上乗せクーポンを受け取れます!

クーポンの申請・取得
飲食店でのお支払い
無尽開催!

TEL 055-223-1637 (受付時間 11:00~18:00)
https://www.yamanashi-kankou.jp/mujindetsukaue/

TEL 055-278-1708

建設経済常任委員会

元気甲斐商品券 7億9,805万円増額

概要 市民1人当たり、市内の店舗で利用できる1万円分の商品券を配布。

- Q** 現金配布は検討しなかったのか。
- A** 市内経済を活性化させるため、市内の店舗のみで利用できる商品券とした。
- Q** 配布方法は。
- A** 簡易書留で郵送。

無尽でお助け めざまし! みんなで100億円キャンペーン

2,510万円増額

概要 市内の飲食店を支援するため、県が実施している「無尽でお助け めざまし! みんなで100億円キャンペーン」にさらに5%を上乗せ。

- Q** 無尽の対象要件および周知方法は。
- A** 2名以上で利用可能。周知方法は、主要施設へポスターの掲示や、チラシ配布。
- Q** 申請方法は。
- A** インターネットにより申請。支援したい市内飲食店名、利用金額(1万円から4万9千円)、利用者の氏名などを入力。ただし、店舗によっては、未実施の場合があるため、申請前に店舗に確認し、申請をする。

一般質問

ここが聞きたい

第2回定例会では7人の議員が一般質問を行い、3日間にわたり活発な議論を展開しました。
なお、議会ホームページで、一般質問の録画映像を配信していますのでご覧ください。

録画映像のQRコードはこちら



甲斐市議会 議会中継 検索
一般質問の詳細な内容については各議員のQRコードからご覧いただけます。

※今回の一般質問は、新型コロナウイルス対策を最優先に考え、各党派1人の7人となりました。

コロナによる生活困窮者への支援策について

Q 生活困窮世帯の生計を維持させる支援策は。

赤澤 厚 **A** 新型コロナウイルスの感染拡大防止にともなう、経済活動の自粛や就労環境の変化から生活が困窮した場合、市は甲斐市社会福祉協議会と連携して「緊急小口資金」「総合支援資金」による、生活に必要な資金の貸付を行う支援を実施している。
Q 家賃が払えない場合や住む場所を失った場合の支援策は。
A 新型コロナウイルス感染症の影響で、収入が減少し家賃等を支払えないといった相談は増えている。市ではこれまで同様、離職や廃業で住居を失った場合に、一定の期間、家賃相当額を支給する「住居確保給付金」による支援を行っているが、現在は対象者を拡大して支援を実施している。

Q 生活困窮にならないための就労支援策は。
A 市では、社会福祉協議会と連携し、生活困窮者自立支援事業を実施し、経済・健康・家庭等に様々な問題を抱えている生活困窮者に対して、自立するための支援策をこれまで行ってきている。今後も、新型コロナウイルス感染拡大による影響が、休職や失業等に及ぶ恐れがあることから、ハローワーク等の関係機関と連携し、就労支援員及び相談支援員が更なる就労支援に取り組む。



その他質問項目

- マイナンバーカードの普及促進について
- カード普及率向上のための取組状況について
- 登校自粛要請が解除後の学校運営について
- オンラインによる補習授業の導入について



新型コロナウイルス及び本市の未来について

Q 学校教育について、長期休みが続き、公立・私立の格差が明らかになり、私立はオンライン授業を柔軟に行った。本市の子どもたちにGIGAスクール構想(児童生徒1人1台の端末コンピュータ)の早期実現が必要と考えるがいかがか。

伊藤 毅 **A** 学校教育について、長期休みが続き、公立・私立の格差が明らかになり、私立はオンライン授業を柔軟に行った。本市の子どもたちにGIGAスクール構想(児童生徒1人1台の端末コンピュータ)の早期実現が必要と考えるがいかがか。
A 国は、令和2年度補正予算に計上した。本市はこの予算を活用し、今年度中に全児童生徒の端末を整備する予定である。オンライン授業は先進地を研究する中で検討する。
Q 防災計画について、新型コロナウイルス感染症対策を追加した避難所運営マニュアル等を策定する必要があるがいかがか。
A 新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ、避難所内の換気、密を避ける安全スペース確保、検温、手洗いがいの徹底等追加し、また備蓄品にマスク、非接触型体温計、消毒液を加える。
Q コロナ終息後の施策として市民が元気になる施策が必要と考える、また、いままで提言している文化やスポーツによる賑わいの創出、様々なスポーツや文化芸術の団体への応援や助成を進めてはいかがか。
A 日常を取り戻した際は、例年と違う趣向を検討し、市民生活の活性化につながる施策を講じる。また様々な小中学生のスポーツや文化芸術を応援する新たな制度を検討する。



その他質問項目

- 国・県との連携について
- 本市独自支援策について
- デリバリー事業について
- 本市の将来ビジョンについて





フラワーパーク&ミュージアム白紙撤回の件

Q 現在、凍結中の業者募集業務は撤回するのか。

谷口 和男 **A** 新型コロナウイルス対策を最優先させるため、また、臨時会では本事業における賛否を問う住民投票条例制定の件での、反対、賛成の様々な意見いただき、これらを参考に本事業の白紙撤回を決断した。従って、事業者公募手続きも白紙撤回とする。

Q (株)オクノブインターナショナル東京からのルドウエ版画170点購入、330点寄託とあるが、これも撤回でよろしいか。

A 絵画の購入、寄託等も撤回する。

Q 昨年12月議会において可決された、債務負担行為30億3,027万7千円は修正するのか。

A 事業の白紙撤回により、次回定例会において、適正な処理を行って参りたいと考えている。

Q 緑化センター跡地活用の方向性について。新型コロナウイルス対策等で、市の財政調整基金40億円が15億円程度取り崩され、25億円ほどになることであるが、イニシャルコスト約24億円、ランニングコスト約15億円もする計画は無理だと思うが、経費の用途は。

A 新型コロナウイルス対策等で、さらなる市費の負担が見込まれるため、本事業の財源は、引き続き、国庫補助金、合併特別債、ふるさと納税の活用などにより、市費の抑制に努める。



家族で遊べる公園のイメージ

その他質問項目

- 新型コロナウイルス対策の改善要望について
- 住民投票条例制定の直接請求について



A 優先的に納入を可能とする、災害協定を締結しており、計画的に備蓄を進めていく。

Q 災害時感染症対応に赤ちゃん用液体ミルクの備蓄を。

A 粉ミルク、液体ミルクともに長所・短所があるため、併用し対応できるように備蓄を進めるとともに、運搬保管も早期検討する。

Q 生活困窮世帯の「子どもの学習・食料支援事業」の支援拡大を

A 「甲斐市パーソナルサポートセンター事業」の新たな取り組みとして、夏休みなど給食のない期間の生活困窮世帯の子どもへの食糧支援を検討して参りたい。



その他質問項目

- 甲斐市GIGAスクール構想実現について
- 自転車利用増加への環境整備について
- がん治療に励む市民の外見ケア支援について
- 公(市)営住宅の保証人の不要について



甲斐市公共施設等総合管理計画について

Q 個別施設計画策定後の来年度以降、施設整備・改修を早急に進める場合、優先する施設は。

五味 武彦 **A** 劣化等に対する修繕を最優先し、大規模修繕は緊急性や老朽化、利用状況を勘案し、未実施施設を優先する。

Q 建設後、相当年数を経過した施設は。

A 39年経過した敷島地区の自然休養村管理センター、36年経過した竜王地区の勤労青少年ホームなどがある。

Q 両施設の使用団体は限られており、利用率が低い。目的外使用や指定管理方式や場合により、譲渡も考えられるか。

A 施設のあり方や活用方法など、計画の中で検討するが、両施設は国や県から約5割の補助金で建設されたので、使用目的が限られている。今後も施設活用のPRに努める。目的外使用や処分の場合、国などに返還金が生じ、申請から承認まで約2年かかる。

Q まち・ひと・しごと創生総合戦略で新しく、「歴史遺産情報発信拠点施設」が取り込まれた。コンセプトは。

A 文化財保存活用地域計画に基づき、令和6年度を目標に甲斐市の歴史的特色を生かした資料展示や体験学習などの場として整備に取り組む。

Q 候補地として、県緑化センター跡地はどうか。

A 様々な方面から提案を聞きながら、今般、いただいた意見も参考に参りたい。



自然休養村管理センター

その他質問項目

- 御岳昇仙峡の自然保護と開発について
- 森林環境譲与税の活用について
- プラごみ発生抑制対策について
- 新型コロナウイルス対策の市の財政について



新学習指導要領について

Q 2020年度から新学習指導要領が実施されるが、そのベースの部分の考え方がどう変わったのか。

A 今回の改訂においては、子供たちに「生きる力」を育むというこれまでの基本目標を引き続き掲げながら、新たなポイントとして「社会に開かれた教育課程」という理念のもと、学校での学びと社会とのつながりを一層重視することが示されている。新学習指導要領では、「何ができるようになるか」「どのように学ぶか」といった、学ぶことによって変わる子供たちの姿や、学ぶ方法にまで踏み込んでいる点が注目される。

Q 創甲斐教育推進事業との関連性について聞く。

A 学習指導要領は、全国どこでも一定の教育水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程の基準であります。これは全国一律の画一的な教育を求めるものではなく、各学校の実情や地域の特性を生かした特色ある教育活動の推進を求めているものである。創甲斐教育推進大綱策定以来、本市独自の施策として掲げてきた「国語力の向上」「自己表現力の向上」「体力の向上」は、学習指導要領で示される「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成に通ずるものである。



その他質問項目

- 山梨西部広域環境組合の現状について



新型コロナウイルス感染再拡大防止について

Q 全ての人に一律10万円支給する「特別定額給付金」は希望する市民には全員の手元に届きそうか。

保坂 芳子 **A** 6月18日時点で対象世帯の90.21%にあたる30,072世帯へ給付を行った。

Q 未申請の方への今後の対応は。

A チラシの新聞折り込みや申請の勧奨通知を発送する予定。

Q 行政書士や専門家の市の無料相談窓口の開設や補助金申請の委託料助成について見解は。

A 事業者が行う雇用調整助成金等の書類作成に関しては、県や甲斐市商工会において社会福祉労務士による個別相談会を開催しているので、活用してほしい。

Q 避難所感染症対策に交付金で段ボールベット等準備を。



一時凍結から白紙撤回に至る意図について

Q 3期12年でやり残した課題はあるのか。あるとしたら、具体的に何か。

金丸 寛 **A** 山梨県緑化センター跡地活用事業、バイオマス発電事業の2つの事業である。前者については、新型コロナウイルスにより、苦渋の決断により白紙撤回したが、今後も都市公園として、新たな内容を検討していく。

Q 4選出馬を表明しているが、市民からは勇退が良いのではという声も聞こえてくるが、市長はどう思っているか。

A 先ほどの課題の解決と事業の実現を図ること、多くの皆様からの期待に応える為にも、4期目の出馬をしたい。

Q 白紙撤回もありうるから、白紙撤回へとなったが、果してコロナ問題だけが要因なのか。

A 新型コロナウイルス対策を最優先とするため、白紙撤回の決断を下したところである。

Q 秋の「市長選の争点隠し」という声もあるがどう思うか。

A 5月14日の臨時会、5月29日の全員協議会において、白紙撤回に賛同する旨の意見が多く、真摯に受けとめ決断したものであり、争点隠しと受け止められたのは心外である。

Q 選挙は行うべきと思うが、市長はどのように考えるか。

A 私以外の候補者が現れることは、何ら厭わない。



旧山梨県緑化センター跡地

その他質問項目

- 議会軽視の感が否めないがについて
- 強力候補予定者に何か働きかけたかについて



特別委員会レポート

第2回定例会までに開催された各特別委員会の活動(調査)状況をお知らせします。

山梨県緑化センター跡地活用特別委員会

日付	特別委員会の内容
令和2年4月28日	(仮称)甲斐市フラワーパーク&ミュージアム整備運営事業の一時「凍結」について

バイオマス産業都市構想特別委員会

日付	特別委員会の内容
令和2年6月19日	(1)事業スケジュールへの影響について (2)基本協定書の最終案について (3)正副委員長の互選(委員長 五味武彦 議員、副委員長 山本英俊議員を選出)

令和2年 第2回臨時会

臨時会のあらまし

令和2年第2回臨時会は、5月11日から14日までの4日間の会期で開かれました。各委員会構成および一部事務組合議会選出議員が変わり、市長からの条例制定および補正予算などの議案が提出され審議されました。また、議員発議による条例の一部改正が提出されました。臨時会の様子は、議会ホームページで録画映像を配信していますので、ぜひご視聴ください。

否決 (仮称)甲斐市フラワーパーク&ミュージアム整備運営事業の賛否を問う住民投票条例の制定

議案第39号「(仮称)甲斐市フラワーパーク&ミュージアム整備運営事業の賛否を問う住民投票条例の制定の件」は、住民の直接請求により地方自治法第74条に規定されている条件を満たしているため市長から上程されました。

地方自治法の規定によると住民投票条例などの直接請求に必要な署名数は、有権者数の50分の1以上(令和2年3月1日現在61,808人)と定められており、今回の有効署名数は7,469人でありました。

また、同法の規定により議案を審査するに当たり、市長の意見書を付することと、条例請求代表者に意見陳述の機会を与えることが定められており、市議会では14日の本会議において、条例制定請求代表者4名から住民投票の必要性について、意見を聞きました。

その後、反対討論および賛成討論を4名ずつ計8名の議員が交互に行い、起立採決を行った結果、賛成少数により否決となりました。

条例制定請求代表者(意見陳述者)

木村富貴子さん 佐藤悦子さん 小越澄子さん 妻鹿絢子さん ※陳述順

意見陳述の様子は、議会ホームページで録画映像を配信しています。詳しい内容はこちらをご覧ください。▶



条例案に対し、意見を述べる保坂市長



意見陳述を行う、木村富貴子さん

賛成討論

松井 豊 議員

市民の意思の証である何万人もの署名は、旧緑化センターの存続に関するものであり、フラワーパーク&ミュージアム計画に置き換えられた過程が不透明である。その他、事業内容にも不明確なところがあるので住民投票を行うべきである。

谷口和男 議員

旧緑化センター跡地活用事業に対して、市民の疑問に答えていない、要望が反映されていない。計画の遂行には、市長と議会だけでなく、幅広い市民の協力が不可避であり、新型コロナウイルス感染拡大の危機的状況では、今後の市の財政も厳しさを増す。今こそ市民の意見を聞くべきである。

横山洋介 議員

甲斐市まちづくり基本条例には「市民生活に関わる極めて重要な事項について、住民投票を実施することができる」と書かれている。その時の市長の考えで、甲斐市の最上位である条例を無視してよいものか。出された条例を修正して、コロナの影響を受けない時期に市民の意思を確認する機会をつくる必要がある。

金丸 寛 議員

現在、甲斐市においては、二元代表制がくずれ、執行(行政)が優勢であり議会が軽視されている。条例制定の直接請求のための有効署名数は本件事業への関心の表れであり、事業を原点に戻し、活用方法から市民とともに考え直して欲しいという願いの表れである。

反対討論

藤原正夫 議員

旧緑化センター跡地活用事業は、長い年月をかけ民生的な手続を経て進めてきた事業である。今、市民が行政に最も求めているのは新型コロナウイルスに対する生活支援である。市長が本事業に対して一時凍結を表明している以上、この時期に本事業の賛否を住民投票で問うことは優先度が高いとは言えない。

清水和弘 議員

住民投票条例の制定については、条例として要件そのものを満たしていない内容であることから反対。新型コロナウイルス対策を優先するとして、市長が本事業の一時凍結を表明しているが、凍結の解除を急がず、本事業の再検討の際には、これまでの経緯を踏まえ、市民の理解を深め、意見を事業に反映させてもらいたい。

小澤重則 議員

地域住民を中心とした施設の存続要望を発端に、これまで議会制民主主義に基づき、市議会定例会や山梨県緑化センター跡地活用特別委員会で調査検討を行い、論戦を繰り広げ審議してきた。また、新型コロナウイルス対策を最優先するとして、市長が本事業の一時凍結を表明している以上、住民投票条例の制定には反対。

秋山照雄 議員

市長が本事業の一時凍結を表明しているが、新型コロナウイルス対策を優先するというのであれば、意を決し「無期限の凍結」いわば「白紙撤回」する覚悟を示す決断を迫られている時期に、住民投票などは論外である。市議会としての使命と責任、また新型コロナウイルス対策に最大限の力を注ぐという市長の覚悟に期待し、住民投票条例の制定には反対。

補正予算

令和2年度 甲斐市一般会計補正予算(第1号)

新型コロナウイルス感染症対策経費として、78億4,211万5千円増額

主な内容

特別定額給付金事業

市民に対し、一律に1人10万円を給付するための事業費と事務費……………76億6,345万3千円増額
※申請書提出期限は、8月28日(金)です。お早めにご提出をお願いします。

安心甲斐・市民支援事業(高齢者へのマスク配布)

感染による重症化のリスクが高い高齢者に対し、マスクを配布する経費(65歳以上の高齢者のみで構成される世帯に配布)……………1,863万3千円増額

認定こども園等事業*

4月から7月までの保育料および副食費の無料化の経費……………4,022万3千円増額
※第2回定例会において、9月まで延長になりました。

子ども・子育て支援事業*

4月から7月までの私立幼稚園の副食費の無料化の経費……………123万6千円増額
※第2回定例会において、9月まで延長になりました。

議員発議

甲斐市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正を可決

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、対策費等へ充てるため、議員報酬を削減。期間は、令和2年6月1日から同年10月31日までの5か月間で、議員1人あたり報酬月額から2万円を減額する。

委員会構成・一部事務組合 議会議員が変わりました

委員会構成

- 総務教育常任委員会(企画政策部、総務部、市民部(保険課を除く)、生活環境部(環境課を除く)、会計課、議会事務局、教育委員会など)
 - 委員長 内藤久歳 ● 副委員長 加藤敬徳
 - 委員 清水和弘・赤澤 厚・斉藤芳夫・有泉庸一郎・小浦宗光

- 厚生環境常任委員会(福祉部、子育て健康部、市民部(保険課)、生活環境部(環境課))
 - 委員長 保坂芳子 ● 副委員長 伊藤 毅
 - 委員 谷口和男・横山洋介・滝川美幸・小澤重則・山本英俊

- 建設経済常任委員会(建設産業部、上下水道部、農業委員会)
 - 委員長 秋山照雄 ● 副委員長 松井 豊
 - 委員 金丸幸司・五味武彦・金丸 寛・長谷部 集・藤原正夫

- 議会広報常任委員会
 - 委員長 滝川美幸 ● 副委員長 谷口和男
 - 委員 伊藤 毅・加藤敬徳・小澤重則・長谷部 集

- 議会運営委員会
 - 委員長 赤澤 厚 ● 副委員長 清水和弘
 - 委員 秋山照雄・横山洋介・松井 豊・斉藤芳夫・有泉庸一郎・藤原正夫・保坂芳子

- 議会改革特別委員会
 - 委員長 長谷部 集 ● 副委員長 伊藤 毅
 - 委員 清水和弘・金丸幸司・五味武彦・金丸 寛・赤澤 厚・松井 豊・有泉庸一郎

- バイオマス産業都市構想特別委員会(6月19日に正副委員長が変更になりました。)
- 委員長 五味武彦 ● 副委員長 山本英俊
- 委員 伊藤 毅・滝川美幸・金丸 寛・松井 豊・有泉庸一郎・長谷部 集・内藤久歳・保坂芳子

- 山梨県緑化センター跡地活用特別委員会(7月9日に正副委員長が変更になりました。)
- 委員長 藤原正夫 ● 副委員長 清水和弘
- 委員 加藤敬徳・谷口和男・秋山照雄・横山洋介・金丸幸司・赤澤 厚・小澤重則・斉藤芳夫・小浦宗光

※ 常任委員会委員の任期は、甲斐市議会委員会条例第3条により、2年となっています。特別委員会委員の任期は、甲斐市議会委員会条例第6条により、付議された事件が議会において審議されている間となっています。

一部事務組合議会議員

- 甲府地区広域行政事務組合
 - 議員 伊藤 毅・金丸幸司・滝川美幸・五味武彦・内藤久歳・藤原正夫

- 中巨摩地区広域事務組合
 - 議員 加藤敬徳・谷口和男・秋山照雄・清水和弘

- 峡北広域行政事務組合
 - 議員 横山洋介・赤澤 厚・有泉庸一郎・山本英俊

- 山梨西部広域環境組合
 - 議員 斉藤芳夫・長谷部 集

- 峡北地域広域水道企業団
 - 議員 保坂芳子

- 山梨県後期高齢者医療広域連合
 - 議員 松井 豊

令和元年度 議長交際費の状況

議長交際費は、議長が議会を代表して外部団体などと交際するための費用で、慶事・弔事・会費などに支出しています。令和元年度の議長交際費の内容をお知らせします。

日付	支出基準	支出内容	支出額
4月	弔 慰	市議会議員 御母堂 香典	5,000円
	弔 慰	市議会議員 御尊父 香典	5,000円
	儀 礼	甲斐市山梨県人会年会費	1,000円
5月	儀 礼	甲斐市山梨県人会総会・懇親会負担金	7,000円
	見舞い	市議会議員 見舞い	5,000円
	弔 慰	元双葉町議会議員 香典	10,000円
	弔 慰	市議会議員 御母堂 香典	5,000円
6月		支出なし	0円
7月	弔 慰	韮崎市長 御母堂 香典	5,000円
8月		支出なし	0円
9月	見舞い	市議会議員 見舞い	5,000円
	弔 慰	南アルプス市議会議長 御尊父 香典	5,000円
	儀 礼	タラマラハイスクール友好交流団歓迎レセプション会費	6,000円
10月	弔 慰	元市議会議員 香典	20,000円
	弔 慰	元市議会議員 生花	15,000円
11月	弔 慰	元双葉町議会議員 香典	10,000円
12月		支出なし	0円
	弔 慰	元竜王町議会議員 香典	10,000円
	弔 慰	韮崎市議会議長 御母堂 香典	5,000円
	弔 慰	元双葉町議会議員 香典	10,000円
2月	見舞い	市議会議員 見舞い	5,000円
3月		支出なし	0円
合計			134,000円

令和元年度 議会政務活動費の収支報告

期間：平成31年4月から令和2年3月(交付額：議員1人あたり月額10,000円)

会派名	年度末人数	交付額(万円)	決算額(万円)	返納額(万円)	用途内容
創政甲斐クラブ	5人	60	60	0	調査研究費 岡山県:高梁市(防災行政・防災ラジオ賞と事業研修) 兵庫県:姫路市(姫路駅周辺整備研修) 小野市(地域支援事業研修)
新政会	4人	48	47.3	0.7	調査研究費 東京都:江東区(東京臨海広域防災公園視察) 茨城県:ひたちなか市(ひたちなか東海クリーンセンター他視察) 北茨城市(天心記念五浦美術館視察) 石岡市(茨城県フラワーパーク視察)
					研 修 費 東京都:千代田区(日本自治創造学会第11回研究大会) 墨田区(第22期自治政策特別講座)
進和会 (R1.8月~R2.3月)	3人	24	5.3	18.7	資料作成費 消耗品
					資料購入費 参考図書
公明党	3人	36	23.1	12.9	調査研究費 兵庫県:西宮市(西宮市情報センター視察) 三重県:津市(三重県子ども心身発達医療センター視察)
					研 修 費 東京都:日本橋(地方議員研究会セミナー)
					資料購入費 参考図書
甲斐市民クラブ (H31.4月~R1.7月)	6人	24	7.9	16.1	研 修 費 東京都:渋谷区(緊急地方議員セミナー2019.5)
					資料購入費 参考図書
甲斐市民クラブ (R1.8月~R2.3月)	3人	24	24	0	調査研究費 愛媛県:四国中央市(児童見守りシステムについて) 新居浜市坂井町(あかがねミュージアム視察) 香川県:三豊市山本町(バイオマス資源化センターみとよ視察) 高松市(栗林公園商工奨励館視察)
颯新クラブ	2人	24	18	6	調査研究費 愛媛県:四国中央市(児童見守りシステムについて) 新居浜市坂井町(あかがねミュージアム視察) 香川県:三豊市山本町(バイオマス資源化センターみとよ視察) 高松市(栗林公園商工奨励館視察)
日本共産党 甲斐市議団	2人	24	24	0	広聴・広報費 広報(4回:新聞折込)

議会広報常任委員会紹介

5月11日に委員会構成が変わった事により、議会広報常任委員会の委員も一新されました。

今後も引き続き、市民の皆さまに議会活動をより理解していただきますよう、わかりやすい情報を発信するため、紙面を充実させて参りますのでよろしくお願い致します。

議会広報常任委員会

後列 左から 伊藤 毅 委員、加藤敬徳 委員、小澤重則 委員
前列 左から 長谷部 集 委員、滝川美幸 委員長、谷口和男 副委員長、清水正二 議長



特集『輝く仲間たち』への掲載記事募集中

市内で活動している方(団体)であれば、年齢・性別・職種等を問わず、活動内容を掲載することが可能です。詳しくは、市議会ホームページまたは、議会事務局まで問い合わせください。

甲斐市議会事務局 庶務・議事係 TEL055(278)1673

議会を傍聴してみませんか!

手続きは簡単です。本会議の当日、傍聴人名簿に氏名・住所・年齢を記入していただくだけです。議会を傍聴することは市政を知る良い機会ですので、ぜひお越しください。なお、現在は、新型コロナウイルス感染症対策のため、傍聴制限をかけることもありますので、ご確認ください。

令和2年 第3回定例会 の日程(予定)

※日程等に変更がある場合があります。
※お気軽にお越しください。
※傍聴に際し、手話通訳が必要な方は、福祉課へお申込みください。
TEL.055-278-1691
FAX.055-276-2113

日	月	火	水	木	金	土
8/23	24	25 本会議(議案上程・一般質問) 10:00~	26 本会議(一般質問) 10:00~	27 本会議(一般質問) 10:00~	28 厚生環境常任委員会9:30~ 建設経済常任委員会13:30~	29
8/30	31	9/1 委員会予備日	2 本会議(採決等) 10:00~	3 決算審査特別委員会 9:30~	4 決算審査特別委員会 9:30~	5
9/6	7	8 決算審査特別委員会 9:30~	9 決算審査特別委員会 9:30~	10 委員会予備日	11 本会議(採決等) 15:00~	12

引越しのお手伝い致します

不用品の買取・回収・販売

★ゴミの片付け・遺品整理も致します。

リサイクル 登美の坂

甲斐市龍地 88-1 (年中無休)
☎0551-28-6262

出張回収にも伺います!お気軽にお電話ください。

有料広告

甲斐市商工会「かいてき住まいの応援団」相談窓口

住まいのお困りごとは、信頼の地元工務店で!

家のリフォームから、造園・外構・快適住環境整備まであらゆる住まいの相談にお応えします!
ご相談は、商工会へ!



【ご相談窓口】 甲斐市商工会 経営支援課
甲斐市篠原2710-1 ☎055-276-2385

この有料広告に関する掲載基準や申込書などは、市議会HPに掲載しています。(1枠につき1回2万円)
HPアドレス <http://www.kai-shigikai.jp/>

議会広報常任委員会

委員長 滝川 美 幸 | 委員 加藤 敬 徳
副委員長 谷口 和 男 | 委員 小澤 重 則
委員 伊藤 毅 | 委員 長谷部 集

